

報道関係者各位

板橋区立美術館

〒175-0092 東京都板橋区赤塚 5-34-27
tel. 03-3979-3251 fax. 03-3979-3252
テレフォンサービス 03-3977-1000
info@itabashiartmuseum.jp
(担当：高木 不在の場合は佐藤)

拝啓 平素は板橋区立美術館の活動に格別のご高配を賜り、篤く御礼申し上げます。

このたび当館では、表題の展覧会を開催することとなりました。資料を送付いたしますので、広報方ご協力下さいますようお願い申し上げます。取材・広報写真などご入用の場合は、メール又は別紙 FAX フォームにてお申込み下さい。また、本展をご紹介いただいた際は当館にもご一報下さい。何卒よろしくお願い申し上げます。 敬具

2011 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展

特別展示 フィリップ・ジョルダノ

イタリア・ボローニャ国際絵本原画展は、世界最大の規模を誇る絵本原画コンクールとして知られています。2011 年は世界 58 ヶ国 2836 人もイラストレーターから応募があり、その中から日本人 19 人（組）を含む 20 ヶ国 76 作家が入選となりました。その全入選作品と、特別展示フィリップ・ジョルダノによる絵本原画を展示いたします。

● ● ● 開催にあたって ● ● ●

板橋区立美術館では、ボローニャ国際絵本原画展を 1981 年より継続して開催しており、今回で 31 回目を迎えます。本年は、イタリアでの展覧会直前に東日本大震災が起きました。震災直後から、ボローニャ・ブックフェアとボローニャ市をはじめ、世界中のイラストレーターや関係のみなさまから多くのお見舞いを頂戴いたしました。しかし、日本への出品を辞退する作家は 1 人もなく、例年通りボローニャ展を開催する運びとなりました。さらに、日本の子どもたちのために自分たちができることはないかというお申し出を、いくつも頂きました。あらためて、ボローニャ展を続けて開催していくことの喜びと、私たちに課せられた責任の重さを深く感じるとともに、一日も早い被災地の復興をお祈り申し上げます。

● ● ● 本展のみどころ ● ● ●

○世界中のイラストレーターによる多彩な作品から、絵本表現の多様性や、これからの絵本の可能性を感じられます。

○特別展示作家フィリップ・ジョルダノ（イタリア）はヨーロッパで注目の若手イラストレーターです。日本の文化や自然観に深い共感を抱いて制作をするジョルダノによる新作絵本「かぐや姫」の原画とスケッチを紹介します。

● ● ● 関連イベントも盛りだくさん ● ● ●

○2010 年リンドグレーン記念文学賞作家キティ・クローザー（ベルギー）や特別展示作家フィリップ・ジョルダノによる講演会や講座も予定しています。

○東日本大震災の復興支援のなかで注目を集める「絵本の力」。関連イベントのひとつ「連続トーク 絵本の力」では、改めて絵本のもつ力を多方面から捉え、考えを深めていきます。毎回多彩なゲストをお招きします。

ボローニャ国際絵本原画展とは・・・

毎年イタリアの古都ボローニャで開催される児童書専門の見本市「ボローニャ・ブックフェア」には、児童書出版を取り巻く多くの人々が世界中から集まります。そこは、商業的な取引の場所であり、情報を交換し、新たな出会いや企画を生み出す場でもあります。このブックフェアに伴うイベントとして「ボローニャ国際絵本原画展」は1967年に始まりました。子どもの本のために描かれた作品を5枚一組にすれば誰でも応募できることから、新人イラストレーターの登竜門としても知られています。

本展の魅力は、絵本表現の「多様性」です。毎年世界中から集まる多数の応募作品を、国籍の異なる5人の国際審査団が厳正に審査します。そこでは多くの絵本を出版している有名作家の作品も、出版歴のない新人作家の作品も同一のテーブルに並べられ、審査員が新しい魅力を感じれば全く無名のイラストレーターも入選することができるのです。

今年の特別展示は・・・

昨年、ボローニャ・ブックフェアとスペインのSM財団によって、ボローニャ展入選者の中から35歳以下のイラストレーターを対象にしたSM出版賞が創設されました。今年の特別展示では、第1回受賞者のフィリップ・ジョルダノ(Philip Giordano)を紹介します。新作絵本〈かぐや姫〉(*La princesa Noche Resplandeciente*)は、日本の竹取物語をテーマにしたものです。ジョルダノは、日本に滞在してストーリーやモチーフを取材する一方で、個人的な表現や自由な解釈を積極的に取り込んで制作しました。イタリアの若手イラストレーターによる新しい竹取物語を、原画とスケッチでお楽しみ下さい。

カフェ・ボローニャ Café Bologna

ボローニャ展の会期限定でカフェがオープンします。手作りのお菓子と軽食の他、作家のオリジナルグッズや洋書も含む関連絵本も充実しています。会期中毎日OPEN 10:00~17:00

開催概要

主催	板橋区立美術館、日本国際児童図書評議会(JBBY)
会期	2011年7月2日(土)~8月14日(日)
開館時間	9:30~17:00(入館は16:30まで)
休館日	月曜日(但し7/18は祝日のため開館し、翌日休館)
観覧料	一般600円、高校・大学生400円、小・中学生150円 *土曜日は小中高校生は無料で観覧できます。*20名以上団体、65歳以上高齢者、身障者割引あり

交通のご案内

徒歩 都営三田線「西高島平駅」下車13分

路線バス (国際興業バス 1時間に2本程度)

- ① 東武東上線「成増駅」北口2番のりば「増17 区立美術館経由 高島平操車場」行きにて「区立美術館」下車
*東京メトロ「地下鉄成増駅」(5番出口)も利用可
 - ② 都営三田線「高島平駅」西口2番のりば「増17 区立美術館経由 成増駅北口」行きにて「区立美術館」下車
- タクシー 東武東上線「成増駅」北口、都営三田線「高島平駅」西口より約5分

2011 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展
イベント案内

講演会

◆ 講演会「ぼくの竹取物語」

第1回 SM 出版賞を受賞したイタリアの若手イラストレーターが、竹取物語をテーマにした新作絵本や日本への関心についてお話しします。

日 時 7月2日(土) 14:00~15:30

講 師 フィリップ・ジョルダーノ (イラストレーター)

通 訳 ガブリエレ・レバリアーティ

先着 100 名・申込不要・聴講無料・当館講義室にて

◆ 講演会「わたしの絵本づくり」

2010年に第8回リンドグレーン記念文学賞を受賞したキティ・クローザーが、自身の絵本制作についてお話しします。

日 時 7月17日(日) 14:00~15:30

講 師 キティ・クローザー (ベルギー、絵本作家)

通 訳 伏見 操 (翻訳家)

先着 100 名・申込不要・聴講無料・当館講義室にて

◆ 連続トーク「絵本の力」

東日本大震災の復興支援のなかで絵本の力が注目を集めていますが、「絵本の力」とはなんのでしょうか。あらためて絵本のもつ力を多方面から捉え、創作や編集、様々な活動をしている方からお話を聞き、考えを深めていきます。

7月24日(日) 「絵本は今ー編集者の声」

木村真 (学研編集者)・筒井大介(イースト・プレス編集者)・永牟田律子(童心社編集者)

7月31日(日) 「作家が考えるー絵本のもつ力」

なかがわちひろ(絵本作家・翻訳家)・村上康成(絵本作家)

8月14日(日) 「絵本と社会」

佐々波幸子(朝日新聞記者)・アーサー・ビナード (詩人)・
松本猛 (絵本評論家・ちひろ美術館顧問)

コーディネーター 広松由希子(絵本研究家)

いずれも 14:00~16:00、先着 100 名・申込不要・聴講無料・当館講義室にて

集中講座

◆ 第14回 夏のアトリエ

夏のアトリエではイラストレーターを対象に絵本制作に関して総合的・専門的な指導を行います。今年度は、2010年に第8回リンドグレーン記念文学賞を受賞したキティ・クローザーを講師に迎えます。

日 程 7月12日(火)~16日(土)の5日間 10:00~16:00

講 師 キティ・クローザー (ベルギー、絵本作家)

通 訳 伏見 操 (翻訳家)

対 象 イラストレーター又はイラストレーターを目指す方で、イラスト・絵本の制作経験があり、全日程参加できる18歳以上の方。

定 員 20名 (書類選考有り)

参加費 10,000円

申込方法 往復はがきに以下の内容をご記入の上、お申込みください。

- ①「夏のアトリエ」申込 ②住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号
 - ③出版歴のある方はタイトルと出版社 ④これまでの制作活動 ⑤主な使用技法
 - ⑥参加希望の理由 ⑦過去の「夏のアトリエ」「夏の教室」「夏のセミナー」参加の有無
- *返信面にも住所・氏名を記入して下さい
*宛先：板橋区立美術館「夏のアトリエ係」
*6月20日(必着)

◆ 第3回 ティーンズ プチ絵本実験室

絵本を作ってみたい中・高生にむけた講座です。複数のイラストレーションを綴じることであまれる、流れ・間・スピード・ストーリーなどを楽しみながら制作しましょう。

日時 8月3日(水)、4日(木)、6日(土)の3回連続 13:00~16:00

講師 宮崎詞美(絵本作家・横浜美術大学准教授)

対象 全日程参加できる中学生・高校生

定員 20人(定員を越えた場合は抽選)

参加費 1,500円

申込方法 往復はがきに以下の内容をご記入の上、お申込みください。

- ①「ティーンズ プチ絵本実験室」申込 ②氏名・ふりがな
 - ③住所・電話番号 ④学校名・学年
- *返信面にも住所・氏名を明記して下さい。
*宛先：板橋区立美術館「ティーンズ プチ絵本実験室」係
*7月14日(必着)

◆ 絵本翻訳講座 -絵と文を読み解く-

絵本の翻訳は、文はもちろん絵もしっかりと読み取らなければなりません。英文の課題絵本は各自で購入し、あらかじめ翻訳してきていただきます。詳しくは当館HPをご覧ください。

(この講座は「いたばし翻訳絵本コンクール」とは関係ありません。)

日程 7月26日(火)、8月2日(火)、9日(火)の3日間 11:00~12:30

講師 灰島かり(翻訳家)

対象 自分の言葉で絵本を翻訳したい18歳以上の全日程参加できる方。

定員 15人(書類選考あり)

参加費 6,000円(別途各自でテキストを購入する必要があります)

申込方法 往復はがきに以下の内容をご記入の上、お申込みください。

- ①「絵本翻訳講座」申込 ②住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号
 - ③職業(学生の場合は学校名と専攻) ④翻訳出版歴のある方はタイトルと出版社
 - ⑤今まで英文で読んだ絵本のタイトル・翻訳絵本で好きな絵本のタイトル
 - ⑥過去の「夏のアトリエ」「夏の教室」「夏のセミナー」の参加の有無
- *返信面にも住所・氏名を記入して下さい
*宛先：板橋区立美術館「絵本翻訳講座係」
*6月28日(必着)

子どもむけイベント

◆ 一時保育とギャラリートーク

お子さんをお預かりします。その間にギャラリートークや展覧会鑑賞をお楽しみ下さい。

日時 7月8日(金) 一時保育 10:00~12:00、ギャラリートーク 11:00~11:30
対象 6ヶ月~3歳の幼児と保護者
定員 10組(定員を越えた場合は抽選)
参加費 無料(要観覧料)

申込方法 往復はがきに以下の内容をご記入の上、お申込みください。

- ①「一時保育とギャラリートーク」申込 ②住所・電話番号
③お子さんと保護者の氏名(ふりがな) ④お子さんの年齢(何歳何ヶ月まで)

*返信面にも住所・氏名を明記して下さい。

*板橋区立美術館「一時保育とギャラリートーク係」宛

*6月28日(必着)

◆ ひよこアトリエ・たぬきアトリエ

絵本作家といっしょに絵を描いたり、工作をしたりするワークショップです。

日程・講師 7月9日(土)「ペットボトルでつくろう」
フィリップ・ジョルダーノ(イラストレーター)、通訳ガブリエレ・レバリアーティ
8月13日(土)「スチレン版画をつくろう」
むらかみひとみ(絵本作家)

時間 10:00~12:00 ひよこアトリエ/14:00~16:00 たぬきアトリエ

定員・対象 各回 3歳~小学生の親子 10組

参加費 一組500円

申込方法 7月9日分は6月25日9:00より電話で先着順
8月13日分は7月30日9:00より電話で先着順

◆ しかけ絵本をつくろう

絵・お話・しかけなどを組み合わせて、自己紹介絵本を作りましょう。3回で一冊の本を作ります。

日程 7月27日(水)、28日(木)、30日(土)の3日間 14:00~16:00

講師 岡村志満子(グラフィックデザイナー)

対象 全日程参加できる小学1~6年生

定員 20人(定員を越えた場合は抽選)

参加費 1500円

申込方法 往復はがきに以下の内容をご記入の上、お申込みください。

- ①「絵本をつくろう」申込 ②住所・電話番号・氏名(ふりがな) ④学校名、学年

*返信面にも住所・氏名を明記して下さい。

*宛先:板橋区立美術館「絵本をつくろう」係

*7月14日(必着)

広報写真申込書 「2011 イタリア・ポローニャ国際絵本原画展」

申請者 (送付先)	お名前
	ご所属
	出版物・放送番組名
	発行・放送予定日 年 月 日 : ~ :
	ご住所 〒
	でんわ
	ファクシミリ
	Eメール
	読者プレゼント用招待券(20枚まで) 希望する(枚) / 希望しない
	連絡欄-----

広報用写真 枚 (ご希望がある場合は○を付けて下さい)	
1	ヌーシーン・サファーフー(イラン)「ルミの話」
2	ゾーニャ・ダノウスキー(ドイツ)「紅葉の季節が来るまえに」
3	ゾウ・ペイジ(台湾)「おどる羽」
4	ベルナルド・カルヴァーリョ(ポルトガル)「お庭の本」
5	渡辺 美智雄(日本)「なまえはママ」
6	伊藤 亜矢美(日本)「おざぶチャン」
7	ムナカタナオミ(日本)「ぼくはほんとについてない」
8	フィリップ・ジョルダーノ(イタリア)「かぐや姫」

写真貸出条件

- 1 写真は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。
 - 2 データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。
 - 3 展覧会の名称、期間、会場は適切な場所、大きさを明示していただくようお願いします。
 - 4 作品写真は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。
 - 5 写真ご掲載の際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
 - 6 掲載紙(誌)は、1冊当館広報宛てにご寄贈ください。Web サイトの場合は掲載時にお知らせください。
- ※ 写真は画像データ(jpeg)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。
- ※ 掲載前に校正紙をお送りください。ご送付いただけない場合、掲載内容についての責任は当方で負いかねます。